

渡邊昇

わたなべのぼる

官僚。天保九年四月八日肥前國生れ、大正二年十一月

十日歿（一八六一—一九三三）。諱武常、通稱兵力。號三時庵、其鳳、東民。

安井息軒の漢學を、齋藤瀨九郎の劍術を學ぶ。大村藩勤王（二十七）の

領袖として國事を奔走。明治元年長崎裁判所出仕、のち大政官權辦事

兼刑法官權判事、待詔局主事、大阪府知事等を經て、十七年會計検査

院院長となる。漢詩、俳諧を能くした。渡邊清の弟。

著書 『近世詩文・第一集』（渡邊昇各、合著・楳岡隆行編、明治十年

十一月大阪・鹿田靜七出版）、『名士の嗜好』（合著・中央新聞社編、

明治二十二年一月二十一日文武堂）等。